

足立高校 定時制 「商業科」の紹介

1. 「商業」って？

商業とは、仕事や社会にとっても近い学習分野です。ものの流通や、会社のもうけ（利益）、パソコンの利用など仕事をするうえで、必要な知識や技術を「商業」の授業として学びます。東京は、日本の経済の中心地です。東京で生活している私たちこそ、経済や商業に関する分野を学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

商業の学習内容は、社会の時代とともに変化します。そのひとつとして、かつては「そろばん」などを使って計算していましたが、現代は「パソコン」です。パソコンを1人1台使って、入力・計算・処理などを行います。

商業を学習すると、就職に生かされるだけでなく、進学にも生かされる場合があります。大学の「経済学部」や「商学部」、専門学校の「ビジネス系」の勉強は、高校では「商業科」にあたります。



商業を学習すると、次のような良いことがあります。

- ・経済のニュースなど、これまで以上に理解できるようになる。
- ・働いている人（社会人）が知っている知識などを、高校生でも分かるようになる。
- ・高校の授業内容が、資格の取得に関連しているため、いろいろな資格を取得することができる。（通信教育などで資格をとるために学ぼうとすると、数万円の費用がかかるので、商業科はお得！）

商業科は、普通科で学ばない内容を学習します。よって、国語や数学・英語などの普通科目は、普通科の生徒に比べて学習する時間は少なくなります。

2. 足立高校定時制の商業科の特徴

○各学年商業科の定員は30人です。（商業科の教員は2人）

○1年生から4年生まで各1クラスが商業科です。商業科は4年間クラス替えがありません。

○商業の科目は、4年間を通じて選択科目はありません。全員同じ科目を学習します。

○商業の科目は、生徒の学力や理解度に対応した指導を行っています。

○一定の学力が付き、内容を理解できた生徒から、順次、検定試験の受検をすすめています。

（問題が解けないのに、無理に検定試験を受けさせられることは一切ありません。）

○4年間の授業のうち、全体の約1/4（25%）が商業を学習する割合です。

4年間で学習する授業の全体（1年間20時間、4年間80時間）

商業の授業 21時間

商業以外の授業 59時間

学年	1年間の授業（週20時間）	
1年	2時間	商業以外の授業 18時間
2年	5時間	15時間
3年	6時間	14時間
4年	商業の授業 8時間	12時間

3. 商業の学習内容と資格

足立高校の商業科で行っている、商業に関する授業は次の内容となっています。

学年	科目	単位	学習内容	対応資格
1	ビジネス基礎	2	商業のガイダンス、商業の全体について、流通や経済の用語、経済の仕組みなどビジネスの基礎的な学習。	
2	簿記	3	企業の仕入れや販売などの取引を、集計・処理して「もうけ（利益）」をもとめる。	簿記3級
	情報処理	2	1人1台パソコンを使用して、文字の入力や編集、計算・処理の方法を学習する。	ワープロ3～2級
3	情報処理	3	ワープロソフトや表計算ソフトを使用します。	表計算3～2級
	財務会計Ⅰ	3	2年「簿記」の続き、株式会社の取引を処理・集計する。	簿記3～2級
4	ビジネス情報	3	「情報処理」の続き、文書デザインについても学ぶ。	表計算、ワープロ、文書デザイン各級
	総合実践	3	「簿記・財務会計Ⅰ」の続き、企業が使用している会計ソフトの利用方法を学ぶ。	簿記2～1級 コンピュータ会計初～3級
	課題研究	2	商業に関するテーマを目的別に学習する。	

※単位とは？：1週間で学習する時間のこと。2単位の場合、週に2時間の授業があります。

4. 資格指導

商業の多くの科目は、学習した内容を資格として残すことが可能です。

検定試験前は、授業が始まる前の夕方や、放課後などに補習を連日行い、熱心に指導しています。本校では2年生から資格取得に向けた指導を行っています。

- 検定試験の会場は、足立高校で受検することができます。
- 検定試験は受験料がかかり、自己負担となります。
(簿記分野 約 1,000～1,500 円、パソコン分野 約 1,600～2,500 円)
- 検定試験の指導は、主に学校の教材で対応できますが、別に問題集を購入する場合があります。
- 資格を取得すると、就職や進学等の進路活動に生かすことができます。
- 検定試験によっては、試験の日が指定されているため、学校が休みの土曜日や日曜日に実施する試験もあります。

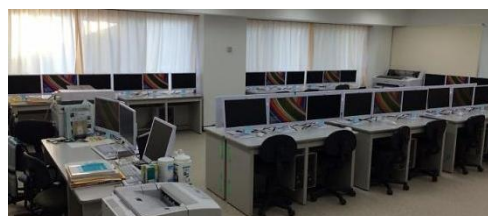
☆ 年度別・学年別資格取得総数 ☆

	合計	23年度生 (H27.3卒)	24年度生 (H28.3卒)	25年度生 (H29.3卒)	26年度生 (現4年)	27年度生 (現3年)	28年度生 (現2年)	29年度生 (現1年)
26年度	28	5	17	6	0			
27年度	37		16	11	10	0		
28年度	40			7	11	22	0	
29年度	44				6	30	8	0
合計		5	33	24	28	52	8	0

5. 商業科の施設

商業科が使用するパソコン教室（情報処理室）は、平成27（2015）年1月に新しくなりました。

授業では大画面のパソコンを1人1台ずつ使用します。



6. 商業科 Q&A

Q1 商業科の授業は初めてで、全くわかりません。とても不安です。

A1 大丈夫！商業の勉強は誰でも初めてで、スタートは一緒です。（商業を知っている人や、経験者は誰もいません）これまでの勉強が得意・不得意など関係ありませんので心配はいりません。中学まで勉強が苦手だった人も、初めて取り組む、『商業』の勉強が得意になる人もいます。商業では計算などもしますが、電卓等が使用できるので、中学の数学が不得意な人でも大丈夫です。

Q2 商業科に入る前に、何か準備しておくことはありますか？

A2 事前に準備することはありません。足立高校の商業科では2年生からパソコンの授業が始まるので、パソコンを持っている人は、タイピングの練習をしておく、入力が早くなります。入力が得意な人は「ワープロ検定」をおすすめします。

Q3 商業科は普通科に比べて、良い点と悪い点がありますか？

A3 良い点：経済やパソコンに関することを学ぶので、社会で必要とされる知識や技術がつく。
悪い点：普通科に比べて、国語や英語などの普通科目を学習する時間が少ない。

Q4 商業科の進路は、就職以外難しいですか？

A4 足立高校に限らず、現在の商業科は就職だけでなく、進学にも対応していますので、どの進路でも考えることが可能です。高校卒業後の進路が決まっていなくても、商業科をおすすめできます。

Q5 現在、社会人ですが普通科と商業科のどちらがよいのでしょうか？

A5 どちらがよい、ということはありません。授業を除き、普通科・商業科ともに行事などの学校生活は全く同じです。自分自身の目標や目的に合わせて、選んでください。よく分からない、決められない人は学校にご相談ください。

Q6 普通科では、商業の資格をとることはできませんか？

A6 普通科の生徒は、一部の資格（主にパソコン関係）については情報科の教員が指導をしています。その他の資格については放課後等の時間を使って、商業科の教員が指導します。しかし、普通科の授業の時間を商業の授業に使うことはできないため、商業科の生徒より時間がかかってしまいます。

Q7 入学後に、普通科から商業科や、商業科から普通科へ移ることはできますか？

A7 ・商業科に入学した場合 → 普通科へ移ることができます。
・普通科に入学した場合 → 2年生の始めまでなら、商業科へ移ることができます。
商業科、普通科ともに4年間での学習を総合的に組んでいます。科を移ることはあまりおすすめできません。

7. その他

① 簿記コンクールの参加

毎年12月に開催される、簿記の競技会「簿記コンクール新人戦」に参加しています。この大会は、東京都の商業を学習する高校（全日制や定時制など）が、2級部門と3級部門について個人戦と団体戦が行われます。

平成26年の第2回大会では、多くの全日制商業科が参加する中、唯一定時制から参加した足立高校の2年生が団体戦3等、個人戦3等に入賞しました。



② 商業の部活動

足立高校定時制では、商業に関する部活動として『簿記情報処理部』があります。主に授業で対応できない資格取得を目指す生徒が、入部して検定試験の受験に備えています。

簿記情報処理部は商業科の生徒だけでなく、普通科の生徒も入部することができます。

